

ネットトラブルから子どもたちを守るためには

昨今、SNS・インターネットの危険性が指摘され、悪質な事件に巻き込まれるニュースがしばしば報道されています。大人によって守られるはずの子ども達が、逆に大人の手によって犯罪に巻き込まれるケースもみられ、憂慮される事態になっています。また、子ども達同士のSNSのやりとりによって「いじめ」に発展するケースも数多くあります。

スマホ（携帯端末）は子どもの位置を確認できるGPS機能もあり、便利で防犯上必要だという声も聞かれます。しかしながら、子ども達が有害情報にさらされる危険性は大きく、ラインなどのSNSがいじめの温床になっている現状や、ブログへの書き込みが誹謗・中傷（炎上）へとエスカレートしていくことを考えると、我々大人が何らかの手立てを考え、ていく必要があるかと思えます。

さて、本校でも家庭においてスマホだけでなく、パソコンやゲーム機等でSNSを利用している実態が、子ども達の話のなかからうかがえます。また、学年が上がるにつれ、ネットやSNSによるトラブルも散見されるのが現状です。

もちろん、スマホ（携帯端末）の所持については保護者の判断です。しかし、必要に迫られ持たせるにしても、危険な側面があることを十分に理解させ、保護者の管理と責任のもとで使わせることが大切です。子ども達のSNS・インターネットの利用状況をどのくらい管理できているか、以下の事項をもとにご確認ください。



- ① 悪質なサイトにはまらないようにフィルターをかけてありますか？
- ② 登録した連絡先を把握していますか？
- ③ SNSでは、どんな相手と、どんなやりとりをしているか把握していますか？
- ④ 子どもがSNS・インターネットを何時までに利用しているか把握していますか？

今、考えていかなければならないのは、**SNS・インターネットの利用を子ども達に任せっぱなしにしない**ことです。子ども達から「みんな持っているよ。」などとねだられてスマホ（携帯端末）を安易に与えることはいかがなものかと思えます。（子どもの望み通り買い与えることは、果たして子どもによい影響を与えるでしょうか。）

子ども達が使い方のルールを知らなければ、悪質ないたずらや**いじめの被害者、時には加害者になる**こともあります。使い方によってはそれに依存し、生活時間が乱れることもあります。友だち同士のコミュニケーションは、SNSでのやりとりではなく、直接会話することが大切です。ご家庭でも、改めて上記の点について確認されることをお願いします。